



平成27年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年9月30日
東

上場会社名 株式会社 平和堂 上場取引所
コード番号 8276 URL <http://www.heiwado.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 夏原 平和
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 竹中 昭敏 (TEL) 0749-23-3111
四半期報告書提出予定日 平成26年10月1日 配当支払開始予定日 平成26年11月4日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第2四半期の連結業績 (平成26年2月21日～平成26年8月20日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第2四半期	203,989	3.8	6,872	10.8	7,129	10.4	4,393	0.2
26年2月期第2四半期	196,497	1.1	6,205	13.8	6,455	16.8	4,386	56.8

(注) 包括利益 27年2月期第2四半期 3,919百万円(△35.4%) 26年2月期第2四半期 6,065百万円(92.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第2四半期	79.52	—
26年2月期第2四半期	79.39	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第2四半期	286,044	129,161	44.3
26年2月期	288,194	126,212	43.0

(参考) 自己資本 27年2月期第2四半期 126,792百万円 26年2月期 123,804百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	12.00	—	15.00	27.00
27年2月期	—	13.00	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	14.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の連結業績予想 (平成26年2月21日～平成27年2月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	414,000	2.3	14,100	5.8	14,400	4.3	7,600	△2.6	137.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年2月期2Q	58,546,470株	26年2月期	58,546,470株
② 期末自己株式数	27年2月期2Q	3,292,543株	26年2月期	3,292,025株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年2月期2Q	55,254,239株	26年2月期2Q	55,255,057株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成26年2月21日から平成26年8月20日まで）におけるわが国経済は、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動影響が残るものの、企業収益の回復を背景に設備投資増や雇用・所得環境の改善が見られるなど、緩やかな回復傾向で推移いたしました。

当小売業界におきましては、業種・業態の枠を越えた競合激化や電力料金の値上がり、採用難による人手不足など、経営環境は引き続き厳しいものとなりました。

このような状況の下、当社グループ企業の中核である「株式会社平和堂」は、おもてなしを意識した売場・店舗・サービスに注力し、地域に密着した企業としてお客様満足度を高めてまいりました。消費税増税の影響や夏季の天候不順もあり客数は前年を下回りましたが、生鮮食品を中心に客単価が増加するなど、既存店の売上高は前年を上回ることができました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、営業収益2,039億89百万円（前年同期比3.8%増）、営業利益68億72百万円（前年同期比10.8%増）、経常利益71億29百万円（前年同期比10.4%増）、四半期純利益は、43億93百万円（前年同期比0.2%増）の結果となりました。

事業のセグメント別業績は以下のとおりであります。

[小売事業]

グループ中核企業である「株式会社平和堂」は、4月にフレンドマート日野店及びフレンドマート深江橋店をいずれもNSC（近隣型ショッピングセンター）の核店舗として出店し、20を超える専門店とともに地域一番店になるべく他社との差異化に努めております。

店舗の活性化では、フレンドマート長岡京店、日夏店、アル・プラザ宇治東において食品売場を中心とした改装を実施、商圈の特性に合わせた品揃えでお客様ニーズにお応えしております。

商品面において、衣料品では、地産素材を使用した機能性肌着の拡販に取り組み、住居関連品では、健康を切り口にした自主編集売場の開発やドラッグ・日用品売場のEDLP商品の拡大をいたしました。また、小型GMS店舗において衣料品と生活関連雑貨との一体型売場の開発をいたしました。食料品は、生鮮商品における品質や産地にこだわった商品の開発、モチベーションでの新たな商品・売場提案に取り組みました。

5月に本格稼働した新食品センター（滋賀県犬上郡多賀町）では、精肉・鮮魚の品質や鮮度の向上、商品管理レベルの改善に寄与いたしました。

買物代行及び暮らしのお手伝い事業の“平和堂ホーム・サポートサービス”におきましては、新たに6店舗でサービスを開始、11店舗での運営体制に広げさらなる地域貢献に尽力してまいります。

中国湖南省で小売事業を展開する「平和堂（中国）有限公司」は、4号店の出店効果により増収・増益となりました。

滋賀県でスーパーマーケットを展開する「株式会社丸善」は、主力店舗の改装効果による売上高増と商品管理ロスの改善により、増収となり、経常利益は黒字転換いたしました。

書籍・CD・DVD販売やCD・DVDのレンタル業を展開する「株式会社ダイレクト・ショップ」は、2店舗の開設と2店舗の閉店を実施しましたが、開設・閉店にかかる費用やレンタル事業の低迷により、減収・赤字となりました。

[小売周辺事業]

惣菜・米飯及び生鮮品の製造加工を営む「株式会社ベストネ」は、新食品センター稼働による製造パック数の増加により増収となりましたが、経費増により減益となりました。

ビル管理事業を営む「株式会社ナショナルメンテナンス」は、新規外部物件の受注獲得や経費減により増収・増益となりました。

[その他事業]

外食事業を展開する「株式会社ファイブスター」は、新店の効果及び高単価商品や季節商品の導入により増収となりましたが、原材料価格やエネルギーコスト、及び人件費の上昇による経費増により、減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金、有形固定資産等が増加したものの、現金及び預金、商品及び製品等の減少により、前連結会計年度末に比べ21億49百万円減少して2,860億44百万円となりました。

負債は、未払法人税等、ポイント引当金、長期借入金の減少等により、前連結会計年度末に比べ50億98百万円減少して1,568億83百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べ29億48百万円増加して1,291億61百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、対前連結会計年度末比14億41百万円増加の140億77百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益が1億67百万円増加、減価償却費が3億5百万円増加、仕入債務の増減額が5億48百万円増加などの増加要因があったものの、たな卸資産の増減額が5億61百万円増加、法人税等の支払額が14億74百万円増加したことなどにより、営業活動による資金の収入は対前年同期比8億77百万円減少の123億60百万円となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形及び無形固定資産の取得については、前年同期より28億13百万円多い71億73百万円を支出しました。一方、定期預金が15億78百万円の減少、短期貸付金の回収による収入が16億31百万円ありました。これらの結果、投資活動による資金の支出は対前年同期比42億39百万円減少の26億2百万円となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

短期借入金の減少が34億50百万円、長期借入金の返済による支出が78億55百万円あった一方、長期借入れによる収入が42億円ありました。これらの結果、財務活動による資金の支出は対前年同期比59億17百万円増加の81億23百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の業績予想数値は、平成26年6月26日公表時より変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,240	17,868
受取手形及び売掛金	4,961	5,026
商品及び製品	18,297	17,392
原材料及び貯蔵品	193	209
その他	8,509	7,203
貸倒引当金	△80	△63
流動資産合計	50,122	47,635
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	85,366	89,544
土地	96,773	97,267
その他(純額)	10,964	8,073
有形固定資産合計	193,105	194,885
無形固定資産		
のれん	1,326	1,284
借地権	5,982	5,975
その他	2,101	1,754
無形固定資産合計	9,410	9,014
投資その他の資産		
投資有価証券	5,341	5,236
敷金及び保証金	23,872	23,505
その他	6,662	6,076
貸倒引当金	△320	△310
投資その他の資産合計	35,555	34,508
固定資産合計	238,072	238,408
資産合計	288,194	286,044

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	29,318	30,916
短期借入金	30,794	30,575
未払法人税等	3,690	2,641
賞与引当金	1,338	1,322
ポイント引当金	6,905	6,657
利息返還損失引当金	163	116
その他	25,175	26,192
流動負債合計	97,386	98,422
固定負債		
長期借入金	41,923	35,037
退職給付引当金	9,153	9,093
資産除去債務	2,505	2,557
受入敷金保証金	10,517	10,453
その他	495	1,319
固定負債合計	64,595	58,461
負債合計	161,981	156,883
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,614	11,614
資本剰余金	19,017	19,017
利益剰余金	94,248	97,813
自己株式	△5,167	△5,168
株主資本合計	119,712	123,276
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,458	1,442
為替換算調整勘定	2,634	2,073
その他の包括利益累計額合計	4,092	3,515
少数株主持分	2,407	2,369
純資産合計	126,212	129,161
負債純資産合計	288,194	286,044

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年2月21日 至平成25年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年2月21日 至平成26年8月20日)
売上高	184,007	191,310
売上原価	129,648	134,645
売上総利益	54,358	56,664
営業収入	12,489	12,679
営業総利益	66,848	69,344
販売費及び一般管理費	60,643	62,471
営業利益	6,205	6,872
営業外収益		
受取利息	225	195
その他	288	428
営業外収益合計	513	623
営業外費用		
支払利息	223	187
その他	39	179
営業外費用合計	263	366
経常利益	6,455	7,129
特別利益		
固定資産売却益	502	0
投資有価証券売却益	685	551
受取補償金	—	288
その他	0	10
特別利益合計	1,187	850
特別損失		
固定資産除却損	126	301
固定資産売却損	40	45
固定資産撤去費用	54	—
減損損失	11	27
その他	0	28
特別損失合計	233	403
税金等調整前四半期純利益	7,410	7,577
法人税、住民税及び事業税	2,783	2,818
法人税等調整額	110	231
法人税等合計	2,893	3,050
少数株主損益調整前四半期純利益	4,516	4,526
少数株主利益	129	133
四半期純利益	4,386	4,393

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年2月21日 至 平成25年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年2月21日 至 平成26年8月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,516	4,526
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	60	△15
為替換算調整勘定	1,488	△591
その他の包括利益合計	1,548	△607
四半期包括利益	6,065	3,919
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,858	3,816
少数株主に係る四半期包括利益	206	102

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年2月21日 至平成25年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年2月21日 至平成26年8月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	7,410	7,577
減価償却費	5,209	5,514
のれん償却額	20	42
退職給付引当金の増減額(△は減少)	103	△59
受取利息	△225	△195
支払利息	223	187
固定資産除却損	126	301
売上債権の増減額(△は増加)	△201	△96
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,411	849
仕入債務の増減額(△は減少)	1,281	1,829
預り金の増減額(△は減少)	1,001	782
その他	△700	△470
小計	15,660	16,262
利息及び配当金の受取額	251	206
利息の支払額	△231	△191
法人税等の支払額	△2,442	△3,916
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,238	12,360
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	254	1,578
有形及び無形固定資産の取得による支出	△4,360	△7,173
短期貸付けによる支出	△2,256	—
短期貸付金の回収による収入	104	1,631
長期前払費用の取得による支出	△1,342	△54
敷金及び保証金の差入による支出	△62	△47
敷金及び保証金の回収による収入	669	553
その他	150	909
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,841	△2,602
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△9,555	△3,450
コマーシャル・ペーパーの純増減額(△は減少)	1,000	—
長期借入れによる収入	11,800	4,200
長期借入金の返済による支出	△4,747	△7,855
配当金の支払額	△718	△828
自己株式の取得による支出	△0	△0
その他	15	△188
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,205	△8,123
現金及び現金同等物に係る換算差額	729	△193
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4,920	1,441
現金及び現金同等物の期首残高	12,075	12,636
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,995	14,077

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。